

連合群馬の『組合役員人材育成講座』でスキルアップ！

j. union College

受講料無料

受講料は連合群馬が負担します！

すべてオンライン学習

1講座1組合3名まで申し込みます

申し込みは開催日の2週間前まで

受講したい講座を選んで、お気軽にお申し込みください
申し込みは組合を通じて**連合群馬**まで

✉ info@gunma.jtuc-rengo.jp

受講申込書

申込日 月 日

産別・地協名

労働組合名

ご記入者名

連絡先 電話番号

連絡先 メールアドレス

【受講希望者】

受講希望講座	受講日	講座名
(ふりがな) 氏 名		性別
役 職		
受講用メールアドレス		

■複数お申し込みの場合は、コピーしてご使用ください。(1組合1講座3名まで申し込み可能)

■お申し込み後の受講者への連絡(オンライン会議アドレス・資料等)は、連合群馬より発信します。

職場での組合活動の進め方

■ 講座概要

日常の職場をより良くするためにはどのようにしたらいいのか、組合役員としての立場と役割を学んでいきます。
「労働組合」の意義や具体的な活動内容を再認識し、組合の実際的な機能・役割に対する理解を深めます。

■ カリキュラム

1. 労働組合とは何を指す組織なのか
2. 組合役員に求められる3つの心構え
3. 日常の職場での組合役員としての10の取り組み



■ ポイント

- ・現場で活動する役員が、具体的な活動事例からその必要性を具体的に捉えることができます。
- ・「労働組合の意義と機能」「組合役員の立場と役割」の2講座の内容を中心に組み立てた講座です。



山崎 啓祐（やまざき けいすけ）

j.union株式会社 講師：大阪オフィス勤務

近畿圏内を中心に、労働組合役員への教育や組織活性化の支援を行っている。
「個人と組織の自律を支援すること」を軸に日々奮闘している。

フォロワーシップを活かしたリーダーシップ開発

■ 講座概要

組織の中でリーダーシップを発揮するには、本人が優秀なフォロワーであることが大切な要素です。
また、昨今の本人の主体性を重視する組織形態の中では、リーダーとフォロワーは表裏一体で、場面や状況に応じた役割が求められ、フォロワーも組織を支える重要な役割を担っています。
・リーダーシップを発揮したいが、どのようにしたら良いかわからない…
・上司や目上の人に、どのように対応したら良いかわからない…
・他人を引っ張っていくのが苦手なのでリーダーシップを発揮できない…
そんな悩みを抱えている方にぜひ聴講いただきたい講座です。

■ カリキュラム

1. なぜ、集団的フォロワーシップなのか？
2. フォロワーシップとは
3. フォロワーシップを発揮するには

■ ポイント

- ・ワークショップ形式で、自分のフォロワーとしての現状把握（セルフアセスメント）と仲間のスタイルを共有していきます。
- ・職場でフォロワーシップを発揮するためのマインドとスキル（貢献力・批判力）を学びます。
- ・自分の立場・役割を理解した上で、リーダーやメンバーとの関係の中でフォロワーシップを発揮することで、リーダーシップ磨くこと目指していきます。



石垣 聡紀（いしがき としのり）

j.union株式会社 講師：東京オフィス勤務

労働組合における意識調査や賃金実態調査など分析業務に従事。
現在は営業担当として、全国約100組織の活動支援を行っている。

組合役員としてのリーダーシップ研修

組合
基礎

対話型

No.39

■ 講座概要

組合役員として日常の職場の中でリーダーシップを発揮していくにあたって、どのような点に注意して、どのように発言・行動すればよいか、20ほどの問いを通して学びます。

全員が考え、一人ひとりの意見を発表して、グループ見解をまとめるワーク形式で、楽しくリーダーシップを学べます。

■ カリキュラム

1. リーダーシップ・コンセンサス＜前半＞
2. リーダーシップ・コンセンサス＜後半＞

■ ポイント

- ・ 具体的な事例をもとにリーダーとしての対応をグループで確認できる。
- ・ 組織全体でユニオンリーダーのレベルアップが図れる。
- ・ 参加型のセミナーのため自らの気づきが多く、参加者の満足度が高い。



三橋 秀郎（みつはし ひでろう）

j.union株式会社 講師：大阪オフィス勤務

常に現場に近い視点で物事を考える」ことを基本に、活動活性化の提案を行うほか、現場の組合役員が「組合活動って楽しい！」と実感し、やる気が湧いてくるような講演を心がけています。

©j.union Inc. All rights reserved.

労働組合における労働安全の取り組み
～形骸化した活動からの脱却～組合
応用

個人型

No.40

■ 講座概要

労働災害防止のため、組合として安全活動を展開することは大変重要なことです。一方長く続く活動のなかで、形骸化してしまったり、やらされ感が生じてしまったりしているケースもあるかと思います。講師は、労働災害が頻発し重大災害にいたってしまった状況から、組合の安全活動を見直し、組合員の安全活動を支援することにより「労働災害ゼロ」を達成しました。このセミナーでは、安全活動の考え方や職場展開の手法を講師の経験に基づいてお伝えします。また、グループワークを通じて参加者の今までの活動や現在の状況を振り返りながら、安全活動をボトムアップする意識を創発します。

■ カリキュラム

1. 会社・労使・組合の各安全活動の現状認識
2. 労働災害の発生と、その後の活動の強化事例
3. 安全活動に対する組合員の本音
4. 安全に関するフレームワークと活動のトップダウン構造について
5. 安全文化醸成レベルとボトムアップ活動の展開手法
6. 活動展開のヒント

■ ポイント

- ・ トップダウンになりがちな安全活動がなぜそのようなのかを理解することで、当事者意識とボトムアップ活動の重要性への理解を高めます。
- ・ グループワークによりこれまでの活動や現在の活動を振り返ることで、安全文化レベルを再認識し、活動への参画意識を高めます。
- ・ 活動のヒントになるポイントを丁寧に説明し、受講後の展開が行いやすい構成にしています。



古山 雄一（ふるやま ゆういち）

元 労働組合役員

石油会社に入社、石油精製プラントの制御システム開発、生産計画業務などに従事。労働組合では3年間の非専従役員を経験したのち、6年間専従事務局長を務める。専従期間の重大な労働災害の発生経験をもとに、安全活動のあり方を見直し、会社でも組合でもない、組合員を主役とした安全活動を提案。ボトムアップ型の活動により、無事故無災害を達成するまで活動を支援。

©j.union Inc. All rights reserved.